

丹巴には女王谷の祖先が凡そ 2000 年前にシャンシュン(中国語で象雄)から移民して来た時に携えて来たボン教が色濃く残り、当時の生命を司る女神であった「湖の女王」も姿や呼

び名を変えて一部に伝承されています。湖が生命を司る女神になる理由は、チベット高原一体では湖の水が人や家畜や畑作物の命を制したからです。



写真1：ハーモルツィは左手に生命を与える薬瓶を持ち、右手に宝物の鏡を持ちます。

女王谷でこの女神を伝える壁画は、丹巴に在る約 1000 年の歴史を持つボン教のお寺の庫裏に有る「生命を与える女神ハーモルツィ(写真1)」と、約 800 年の歴史を持つ領主の館跡に残るマニ堂の門の右側に有る「生命を奪う女神ブルウィ或いはムルウィ(写真2)」だけで、他は高僧の伝承だけに止まっています。「生命を与える女神ハーモルツィ」は、次回「四姑娘山・写真だよりNo. ④⑤女王谷の神々(3)」でご紹介するボン教の最高神スパ・ギャルモに並んで大きく描かれ、高い格付けを維持して



写真2：ブルウィは右手に生命を奪う矢を持ち、左手に宝物の鏡を持ちます。壁画下方の文字は土地を護る白い女神を意味します。



写真3：生命を司る女神(復元画)

います。「生命を奪う女神ブルウィ
或いはムルウィ」は、前回「**四姑娘
山・写真だよりNo. ④女王谷の神々
(1)**」でご紹介したモルド山神と対
になって描かれ、これも高い格付け
を維持しています。

どちらもギャロン・チベット語の
方言の一つで使われる呼び名です
が、一つの郷村の中でも発音にバリ
エーションが有ったり、同じボン教
の寺の中でも僧の世代によって名前
や意味が違います(学ぶ経典が異なる)。また宗
派が異なる一部のチベット仏教の高僧にもこ
れらの女神が口頭で伝承されていますが、同
様に名前や意味が違っていています。なお古代チ
ベット文化の研究で知られるJ.V.Bellezzaさん
のお話によりますと、前述の二つの女神は元々
の「生命を司る女神」と姉妹関係にあるそう
です。

女王谷で「生命を与える女神」と「生命を
奪う女神」の二つに分かれる以前の元々の「生
命を司る女神」の姿の復元画(写真3)も挙げま
す。復元画はハーモルツィとブルウィの壁画
を合わせた物で、丹巴の絵師と共同でキャン
バスに原画を描き、その画像をパソコン上で
編集しています。

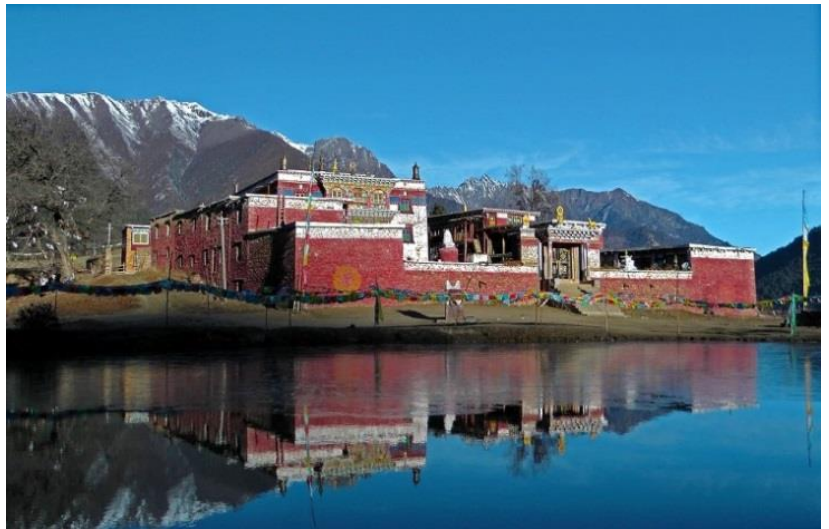


写真4: 背景になる山と前景の湖を備えた丹巴の古い歴史を持つボン教寺で、
ゲンザ(中国語で革什扎)公国領主に繋がる。

女神の顔は本来魔除けのために憤怒の形相
を取りますが、作者の好みで現代美人の風合
いを持たせ表情を和らげているため、専門家
の間では不評です。

この湖の女王はかつてはボン教の最高位の
女神の一つでした。しかし現在では、伝来し
た仏教等の影響で、8世紀以降ボン教の残され
た一大勢力圏となった女王谷以外では低位の
土地神として稀に伝承されているだけです。
なおシャンシュンを含む古代チベットでは、
山と湖を対にした神が信仰されていて、古い
歴史を持つボン教のお寺が建つ場所は背景に
なる山と前景の湖を備えています(写真4)。

●大川さんのホームページはこちら <http://rgyalmorong.info/index.htm>

<http://rgyalmorong.info/scholaweb/conts.htm>

▲お知らせ：女王谷の HP (<http://rgyalmorong.info/>) に、当地の風情を紹介するサンプルビデオ (MP4 形式 8MB 前後) 1 分余り×15 本を追加しました。日本語 HP に入って頂いて、先頭頁の左下に有る、「風情のあるビデオ」でご覧になれます。(<http://rgyalmorong.info/scholaweb/queenvideo-j.htm>)